



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

LOJAPR07/10- No.101

FAO(国際連合食糧農業機関)日本事務所

2007年7月31日

プレスリリース

FAOがパレスチナ自治区における農業再活性化事業 計画及びイエメン共和国及びその周辺国における砂漠 バッタ異常発生対策に対する緊急支援計画を実施 日本政府がFAOを通じ2事業、4.2億円の拠出を決定

国際連合食糧農業機関(FAO)は、日本政府より4.2億円の無償資金協力(貧困農民支援)を得て、パレスチナ自治区及びイエメン、スーダン、エリトリア、エチオピアにおいて以下2件の事業を実施する。

- (1)パレスチナ 1億9,000万円
パレスチナ自治区における農業再活性化事業計画
- (2)イエメン、スーダン、エチオピア、エリトリア 2億3,000万円
イエメン共和国及びその周辺国における砂漠バッタ異常発生対策に対する
緊急支援計画

このための書簡交換が、7月31日(火)ローマにて、FAOデヴィッド・ハチャリック事務次長と、中村雄二駐イタリア国大使との間で行われた。

個々の事業の背景、概要および成果については、別紙の通り。

本件問い合わせ先：
FAO日本事務所 担当： 国安・八木
TEL: 045 - 222 - 1101
FAX: 045 - 222 - 1103
Email: FAO-Japan-Info@fao.org
www.fao.or.jp www.fao.org

パレスチナ自治区における農業再活性化事業計画

1. 実施期間: 2007年11月 - 2009年12月(26ヶ月)

2. 予算: 1億9,000万円

3. 事業実施地: パレスチナ自治区

4. 受益者: 農家2,020戸 (約1万2,000人)

5. 背景

農業はパレスチナ住民の経済・社会生活において重要な役割を果たすものだが、紛争や内部での衝突による農地の荒廃や閉鎖、人・物資の流通制限等により農業生産性や雇用機会が低下し、農村における食料安全保障の悪化が深刻である。本事業は、このような状況下における農民の生計向上の一助となる支援として、現在FAOが実施中の「パレスチナ・ヨルダン川西岸における露地園芸の復旧・強化事業」(実施機関2007年3月 2008年2月)における活動の補完・強化、事業効果の地域的拡大を図るものである。

6. 事業目標

農家の生産活動再開を支援し、農村地域の生計向上と経済発展に寄与する。

7. 活動内容

園芸作物栽培、小反芻動物(羊・山羊等)飼育、マーケティングの3分野における技術指導、資機材の供与を通じ、具体的には以下の活動を行う。

(1) 園芸作物栽培

- ・貯水槽・貯水池建設
- ・露地いちご栽培再開
- ・モデル果樹園造園
- ・井戸再建
- ・害虫管理研修

(2) 小反芻動物飼育

- ・家畜小屋の再建
- ・殺虫液洗浄槽建設

- ・貯水槽供与
- ・飼育法技術研修
- (3) 商品化と流通
- ・マーケティング活動支援
- ・草の根農民組織支援
- ・販売支援を目的とした資金援助

8. 期待される効果

水資源の有効活用、家畜飼育、露地栽培に関するインフラが整備され、農家や農民組織の栽培、飼育、マーケティング能力が強化される。

パレスチナ地図



(Source: <http://www.mideastweb.org/mpalestine.htm>)

イエメン共和国及びその周辺国における砂漠バッタ異常発生対策に対する緊急支援計画

1. 実施期間: 2007年8月 2008年6月 (11ヶ月)

2. 予算: 2億3,000万円

3. 受益地: イエメン、スーダン、エチオピア、エリトリア

4. 背景

紅海沿岸諸国及びアラビア半島内では、2006 年後半から 2007 年初めの異常降雨等のため、砂漠バッタ生育の絶好の環境条件が整った。中でもエリトリアでは、2006 年 12 月における F A O の最初の警告以降、継続した降雨の為、砂漠バッタ生息地がスーダン等へ拡大した。防除活動は行われているものの、噴射機不足・情報通信/連絡設備の不備・作業用備品不足等で十分な対応がなされていない。従って、この防除網を潜り抜けたバッタがエリトリアからスーダンにかけて夏の雨期に移動発生していくことが深く懸念されている。

同じくイエメンも、2007 年 3 月から 5 月にかけての異常降雨が砂漠バッタ大発生を引き起こす好環境を生み出し、極めて危機的状況にあると見られている。また、この夏に向けイエメンの近隣諸国であるエリトリア・スーダン・エチオピア等に拡大していく恐れが大きい。

5. 目標

今後予測される砂漠バッタ大発生に対する迅速な防除対策能力を向上・強化し、4 か国における農村コミュニティへの被害を抑え、砂漠バッタの被害拡大を阻止する。

6. 活動内容

- (1) 該当国農業部局スタッフへの砂漠バッタ被害防除トレーニング
- (2) 2007 - 08 年冬季防除活動の為の地域ワークショップ
- (3) 化学殺虫剤利用の効能性・安全性を観察する国家チームを設置
- (4) 殺虫剤空き缶回収及びその安全処理設備の整備
- (5) バイオ殺虫剤の利用・取扱いトレーニング
- (6) 調査・監視・情報通信/連絡等のための機材供与
- (7) 砂漠バッタ防除活動のための資機材供与

7. 期待される効果

- (1) 農業関係スタッフへの砂漠バッタ防除活動トレーニングの普及拡大
- (2) 砂漠バッタ監視能力の向上
- (3) 砂漠バッタ繁殖予想地域の確定・位置付け
- (4) 安全で効果的且つ時宜にかなった防除活動による砂漠バッタ数の抑制と、更なる繁殖の未然防止による、他の地域への被害拡大の予防
- (5) 殺虫剤空き缶の安全処理
- (6) 各国政府機関・被害現地コミュニティ・F A O の間の砂漠バッタ対策に関する連携協力関係の強化



Desert Locust Summary Criquet pèlerin - Situation résumée



344

